

第6回常任理事会報告

日 時 平成24年12月17日（月）午後2時～同4時20分
場 所 日本歯科医師会 801会議室
出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 佐藤田鶴子、荒木孝二
<総務理事> 栗原英見
<常任理事> 川添堯彬、山崎芳昭、向井美恵、覚道健治、
勝海一郎、大浦 清、後藤滋巳、一戸達也、
松村英雄、中島信也
<常任理事予定者> 栗田賢一
□日本歯科放射線学会
<理事長> 有地榮一郎 <常任理事> 勝又明敏
欠席者 <常任理事> 佐々木啓一

[議長 栗原総務理事]

1. 開 会

佐藤副会長より、開会の辞。

2. 挨拶

江藤会長より、挨拶がなされた。

3. 紹 介

栗原総務理事より、日本口腔外科学会理事長の交替に伴う、本学会理事の変更について、新たに栗田賢一氏が理事に就任される旨の紹介がなされた。

栗田理事より自己紹介が行われた後、江藤学会長から指名書が交付された。

ここで日程を一部変更し、『5. 協議-2) 事業計画の推進- (1) 常任理事の欠員による補充 (1名) について』および『5. 協議-2) 事業計画の推進- (9) 歯科画像情報の標準化に向けた取り組みについて』に移った。

5. 協 議

2) 事業計画の推進

(1) 常任理事の欠員による補充 (1名) について

栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、福田常任理事の辞任に伴い、栗田賢一理事を常任理事に指名することになった。

(9) 歯科画像情報の標準化に向けた取り組みについて

一戸常任理事より、標記について、日本歯科放射線学会の有地理事長および勝又常任理事より、この場で、詳細なご説明をいただくことについて提案され、協議の結果、承認された。

有地理事長および勝又常任理事より、日本歯科医学会から歯科医療機器メーカーへの働きかけ並びに日本歯科医学会内に WG を設置されたい旨の要望がなされた。

本件の緊急性や保険診療との関係を含め協議した結果、歯科画像標準規格を推進するメリットについて、日本歯科医師会の一層の理解を得る必要性や予算の問題等について、引き続き、日本歯科放射線学会内で検討することになった。

3. 報 告

1) 一般会務報告

栗原総務理事より、次の資料に基づき、報告がなされた。

一般会務報告 (平成 24 年 10 月 12 日～同 12 月 16 日)

第 5 回常任理事会報告 (平成 24 年 10 月 12 日開催)

2) 第 22 回日本歯科医学会総会準備状況報告

川添会頭より、標記について、資料に基づき報告。

3) 会計現況報告

山崎常任理事より、標記について、平成 24 年度 10 月現在の学会会計および第 22 回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書（いずれも暫定版）に基づき報告。

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

▶ 平成 24 年度日本歯科医学会第 2 回ワークショップについて

荒木副会長より、標記ワークショップを 12 月 14 日（金）・15 日（土）の両日に亘って開催した旨、資料に基づき報告。

▶ 平成 24 年度歯科保健医療情報収集等事業アンケート調査について

栗原総務理事より、厚生労働省受託事業インプラント班において、インプラント治療の教育・研修に係るアンケート調査を実施する旨資料に基づき報告。

なお、アンケート調査票は、明日開催の第 1 回厚労省受託事業に係る医学研究倫理委員会の審議を経て確定される旨を補足した。

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

(3) 専門医制度の在り方の検討

江藤会長より、次の資料に基づき報告。

□医学界新聞 2997 号 2012 年 10 月 8 日「どうなる？専門医制度」

□一般社団法人日本歯学系学会協議会第 10 回講演会

「日本専門医制評価・認定機構について」

(4) 学会機構の改革

特になし。

(5) 国際連携の推進

特になし。

(6) 歯科医学未来構想の構築

特になし。

5) 会長報告

江藤会長より、日歯理事会および常務理事会における報告事項および協議事項について、資料に基づき報告がなされた。佐藤副会長より、第1回歯科専門職の資質向上検討会の議事内容について、補足説明がなされた。

6) その他

▶ 理事、評議員・予備評議員の交替について（日本口腔外科学会）

栗原総務理事より、標記について、資料に基づき報告。

▶ 日本歯科医学会役員（学会会長）選挙候補者について

佐藤副会長より、標記について、資料に基づき報告。

5. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

特になし。

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

(3) 専門医制度の在り方の検討

▶ 臨床遺伝専門医制度「暫定制度」について

江藤会長より、日本人類遺伝学会の福島義光理事長に対し、標記制度における基本領域学会の専門医資格に、歯科領域における広告可能な専門医資格を追加することについて、要望することになった。

(4) 学会機構の改革
特になし。

(5) 国際連携の推進
特になし。

(6) 歯科医学未来構想の構築
特になし。

2) 事業計画の推進

(2) 顕彰審議会答申の取り扱いについて

佐藤副会長より、標記について、顕彰審議会からの答申書に基づき諮られ、協議の結果、常任理事会として答申内容を了承し、次回理事会で引き続き協議することとした。

(3) 専門分科会資格審査委員会答申の取り扱いについて（認定分科会登録）

荒木副会長より、認定分科会への登録申請のあった日本口腔リハビリテーション学会及び日本口腔顔面痛学会の登録資格審査に係る答申内容について、同委員会からの答申書に基づき報告が行われた後、常任理事会として、登録可否を判定したいとして諮られた。

江藤会長より、日本口腔リハビリテーション学会に関しては、リハビリテーションを国民的運動へと発展させようとする医科の活動状況や保険導入拡大に向けた検討がなされている旨説明があった。日本口腔顔面痛学会に関しては、同学会が作成した非歯原性歯痛診療ガイドラインがMindsに掲載されていること等の説明がなされた。

以上を踏まえ、協議した結果、常任理事会として、両学会の登録を可と判定し、次回理事会で引き続き協議することとした。

(4) 厚労省受託事業に関する医学研究倫理委員会への諮問について

（インプラント班アンケート）

栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り諮問することとした。

(5) 学会第 89 回評議員会開催公告について

栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、認定分科会の登録に係る議案を追加した上で、原案通り承認した。

- ・江藤会長より、代表者会議を発展的に解消し、認定分科会から評議員を選出できるよう、評議員選出基準を改正することについて説明があり、了承された。
- ・栗原総務理事より、評議員会に上程する平成 25 年度学会会計収支予算については、平成 25 年 1 月 15 日開催の第 8 回常任理事会および第 4 回理事会において、予算書（案）に基づき協議することが確認された。なお、栗原総務理事と山崎常任理事（会計担当）で予算の大枠についての打合せを行った上で、予算書（案）を作成することになった。

(6) 日本歯科医学会規則の一部改正について

栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り承認した。

(7) 学会第 89 回評議員会の開催について

栗原総務理事より、標記について、資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通りの日程で開催することとなった。

(8) バイタルサインセミナーの取り扱いについて

栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、日本歯科医師会へ標記セミナーの開催を提案することとした。

(10) 後援名義貸与について

栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、後援名義を貸与することとした。

(11) 役員派遣について

栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り役員を派遣することとした。

3) その他

特になし。

5. 閉 会

荒木副会長より、閉会の辞。